

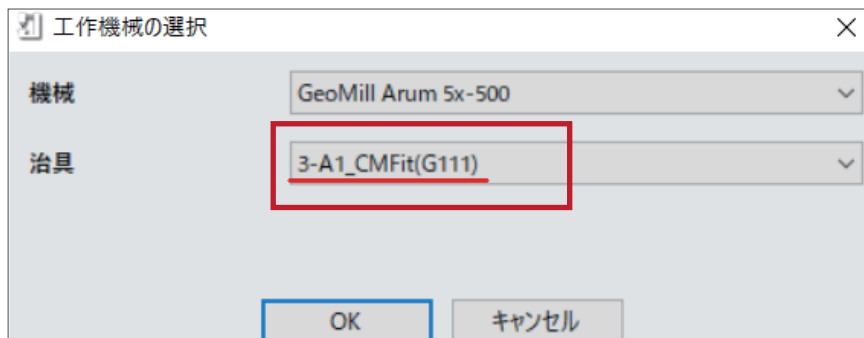


# Tech manual

hyperDENT - CMFit 配置方法

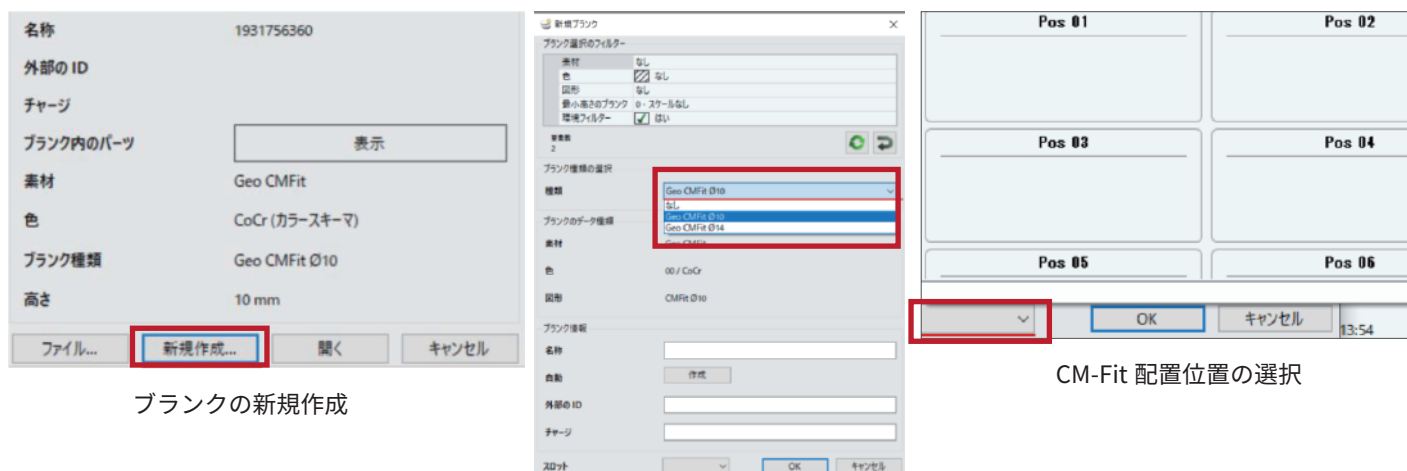
## ① 工作機械の選択

「工作機械の選択」でミリングマシンと「治具」を選択する



## ② ブランクの読み込み

ブランクの「新規作成 ...」から「ブランク種類の選択」で CMFit の種類とサイズを選び、配置位置を決める



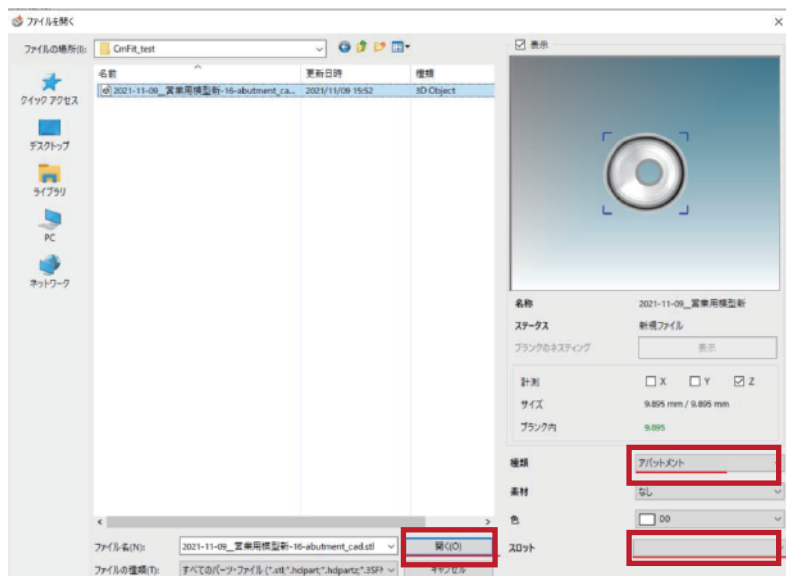
ブランクの新規作成

CM-Fit 配置位置の選択

CM-Fit のサイズ選択

## ③ パーツの読み込み

加工物のファイルを選択し、種類、配置するスロット (場所) を選択する

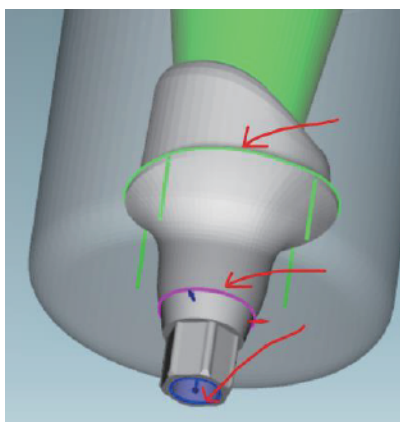


## exocad でデザインを行ったとき（ジオライブラリ使用）

＊construction Info ファイルと切削する STL データが同じフォルダ内にあれば方向性などが自動で設定される

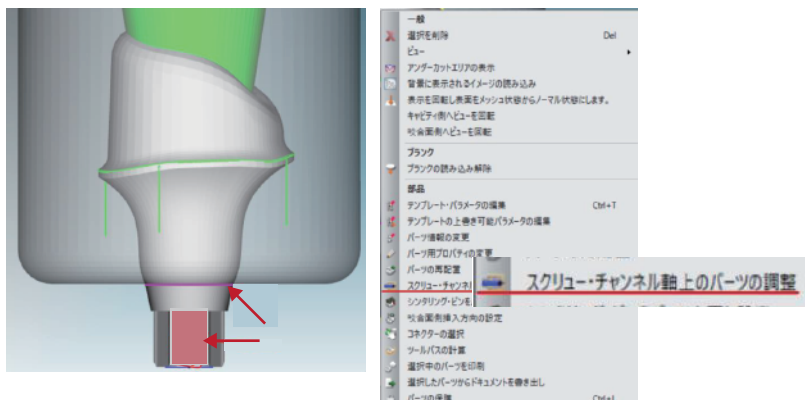
CmFit_test				
名前	更新日時	種類	サイズ	
2021-11-09_営業用模型新-constructionInfo	2021/11/09 15:52	CONSTRUCTIONIN...	273 KB	
2021-11-09_営業用模型新-16-abutment cad.stl	2021/11/09 15:52	3D Object	857 KB	

### ④ 基準線、ホルルの確認



修正時はパーツフューチャーの確認から再設定

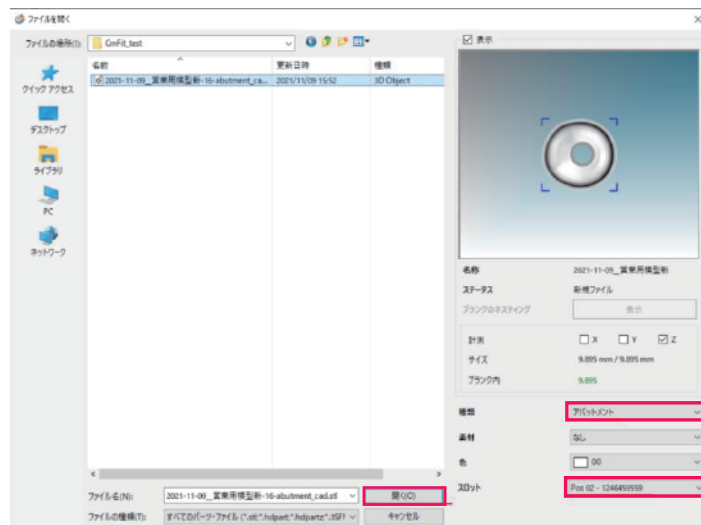
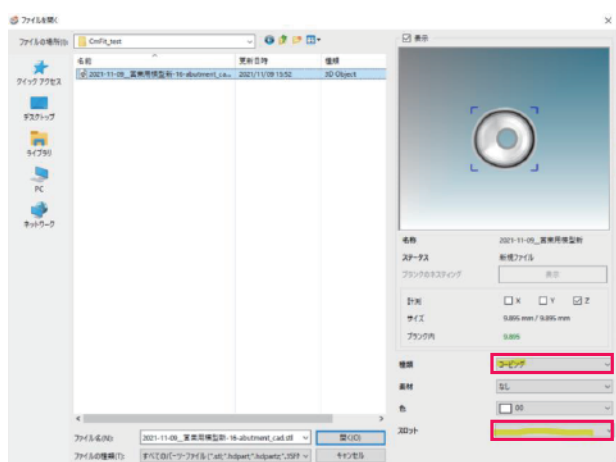
### ⑤ ベースライン、ヘックスの面の確認（実際にジグに取り付けた際の面の向きと同じか）



修正時は加工物を選択した状態で右クリック

## 3D データのみの場合

### ① パーツの読み込み



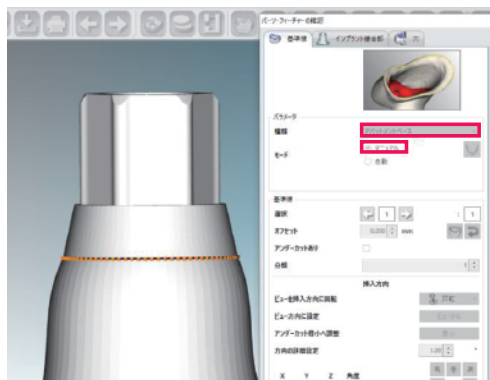
### ② 切削方向の設定



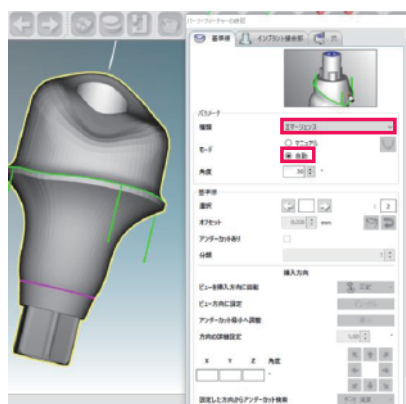
画面に表示されている向きが咬合面か支台歯側かを選択する（この写真ではヘックス部が見えるため、**支台歯**を選択）

## ① パーツフューチャーの確認

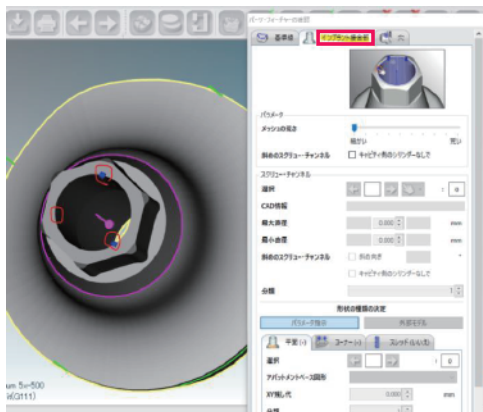
- アバットメントベースの設定（実物と見比べてアバットメントベースラインを引く）



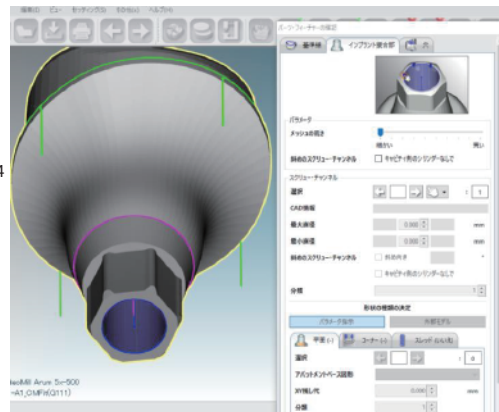
- エマーゼンスラインの設定  
（認識が上手くいかない場合は  
マニュアルを選択する）



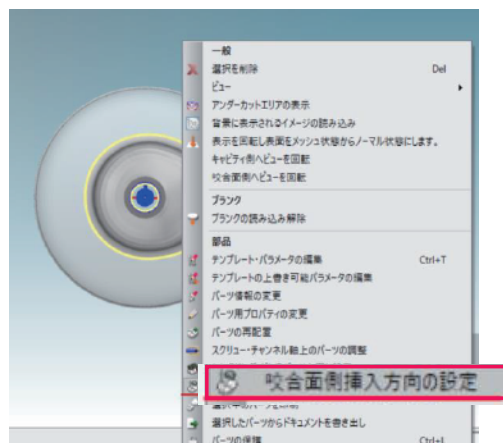
- インプラント接合部の設定（接合部側から3点選択してホールの認識）



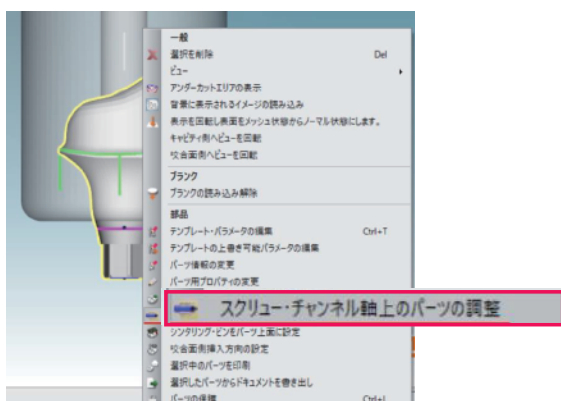
04



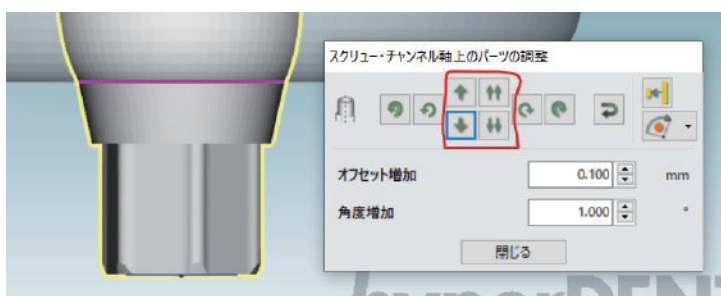
- 咬合面側挿入方向の設定  
（加工物の咬合面側が正面を向くように  
視点を変えて設定する）



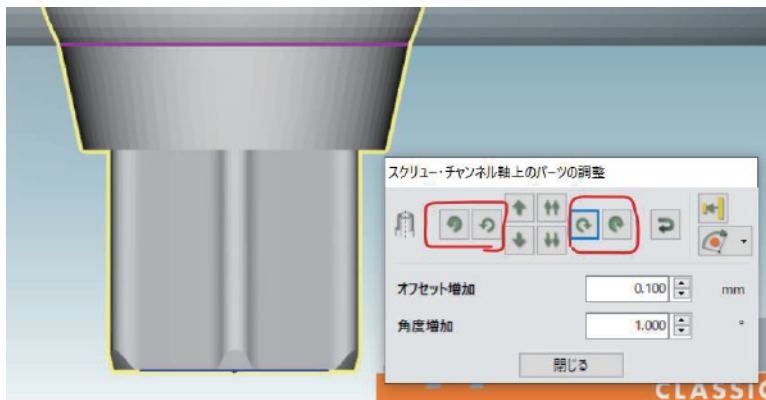
- ・スクリーチャンネル軸上のパーツの調整（加工物と CMFit の位置とヘックス部の面を合わせる）



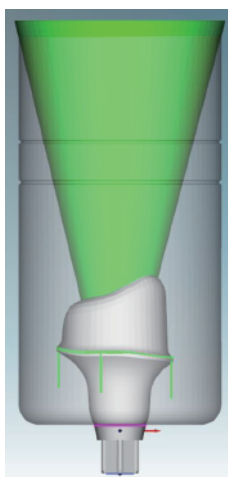
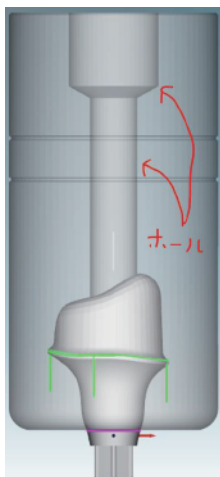
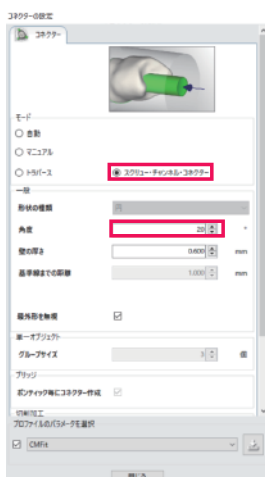
- ・アバットメントベース位置合わせ



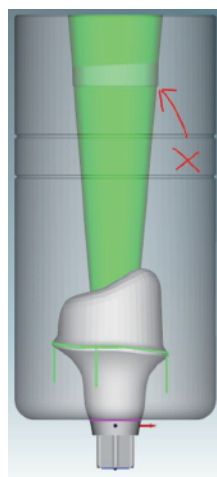
- ・嵌合部の角度合わせ（ジグに設置した際に表側から見た嵌合部の角度に合わせる）



- ・コネクタの設定



良い例



悪い例